

03:50:25

村上先生にご質問です。顔認証で、アメリカだと黒人差別があるので黒人の認証精度が低い一方、中国だと東アジア人の認証精度が高いがそれがウイグル人の弾圧に利用されているとのことでしたが、精度が低くても差別、高くても差別ということはどう考えたらいいのでしょうか？ それとも、そもそも顔認証の研究そのものが差別ということなののでしょうか？

04:00:13 **Yuko Murakami:**

お答えです。技術をどのように使用するのか、が問題となり、精度で判定できるものではないと考えています。類似の例として、軍事研究があります。軍事利用懸念から機械の精度など一定以上のスペックの技術に関して外為法の経済安全保障で国際取引の制約がありますが、実際には精度がそれほど高くなくても民生用機器が軍事利用されていることがあります。

顔認証については個人判別が差別ないし迫害につながる可能性がある使用が危惧され、技術開発の速度と制度整備のすきまを埋めるために数年ごとに見直しを続けながらどこまで大丈夫なのか見計らっている状況です。